

第5章 人々がふれあい笑顔があふれる活気に満ちたまちを創造する^{とき}時間

第1節 産業・観光の振興

現状と課題

近年の米価低迷などから農業経営は非常に厳しくなっており、国の農業政策も、「構造改革」の名のもとに一部の大規模農業経営体や法人経営に絞った、新たな経営所得安定対策が開始されようとしています。後継者不足や従事者の高齢化が進行する本町においても、地域農業を支える「担い手」の育成・確保が急務な課題となっています。

今後も農業を町の基幹産業として育成していくためには、減農薬米・有機米など付加価値のついた水稻栽培の推進や、一部農家により軌道に乗り出した「水稻＋黒大豆」の複合経営を拡大し、所得の安定を図らなければなりません。特に黒大豆については、現在行われているオーナー制度や東京市場での販売のほか、既に製品化された黒大豆甘納豆や黒大豆アイスに加え、味噌その他の新たな加工品を製造・販売する事業者を増やすとともに、より付加価値の高い地域特産品の研究開発を行うための拠点として、農産物加工所の建設も必要となっています。

商業経営においては、品揃えと低価格から消費者の目は近隣の大型ショッピングセンターに向かいがちであり、町内の商業者は苦戦を強いられています。そこで、これからの商業者は、今後ますます増える高齢者をターゲットとした商品の提供や特色あるサービスなど、価格や品揃え以外で消費者ニーズに応え、消費者の信頼と購買意欲を得なければなりません。

このため、行政は商工会と共に、商業者には戦略的経営の指導を行い、消費者には地元商店を育成するという気持ちを醸成するなど、地元消費率を上げていくための振興策が求められています。

国内人口が減少化に転じた中、町内の昼間交流人口を増やし、町内での消費を促すことにより経済の活性化を図っていくためには、「房総のむら」をはじめとした観光資源や町の魅力を広くアピールするとともに、町全体でもてなしの意識をもって来訪者を迎えるといった、魅力に満ちた心温まる観光地づくりを展開する必要があります。

目指す姿

農業経営に意欲と能力のある農家に農地が集積し、減農薬米や有機米など付加価値の高い農作物が生産され農家所得の安定が図られています。また、消費者は、より身近な商店・直売所などから地元産の安心、安全な農作物や日用品を購入しています。

さらに、各産業の生産物が町内で消費されることにより経済の循環サイクルが円滑に回り、各事業者は相乗的、連鎖的に恩恵を受け所得が上がり、疲弊し始めた町経済に活気が戻っています。

成果目標

農業の振興を図るべき地域が明確にされ、農家が意欲的に農業経営に携わっている。

施策名	安定した農業経営の推進		担当課	産業課
指標	現状値	目標値 (平成22年度)	備考 (指標の説明、目標値の根拠、データ取得方法等)	
認定農業者数	23人	42人	栄町地域水田農業ビジョンによる目標値	
主な事務事業	農業の魅力発掘事業		農業振興地域整備計画事業	

【関連：産業・観光の活性化】

効率のよい農業経営により農家の生産性と収益性が上がっている。

施策名	効率的な水田の利用促進		担当課	産業課
指標	現状値	目標値 (平成22年度)	備考 (指標の説明、目標値の根拠、データ取得方法等)	
黒大豆栽培面積	20ha	25ha	栄町地域水田農業ビジョンによる目標値	
主な事務事業	計画的な水田利用事業		生産基盤整備事業	

【関連：産業・観光の活性化】

安心、安全、新鮮な地元産の農作物が地元で消費されている。

施策名	地産地消の推進		担当課	産業課
指標	現状値	目標値 (平成22年度)	備考 (指標の説明、目標値の根拠、 データ取得方法等)	
直売組合による農産物売上高	52,600千円	60,000千円	15%UPを目指す	
主な事務事業	農産物流通システム整備事業 交流の場の整備事業		特産品開発推進事業	

【関連：産業・観光の活性化】

町内への観光客や交流人口が増え、町に賑わいが戻っている。

施策名	観光の推進		担当課	産業課
指標	現状値	目標値 (平成22年度)	備考 (指標の説明、目標値の根拠、 データ取得方法等)	
観光入込み客数	461,000人	500,000人	1割増を目指す	
主な事務事業	観光情報の発信事業		ドラムの里の活用事業	

【関連：産業・観光の活性化】

行政の果たす役割

農地の利用集積を進めるため、農地の借り手と貸し手にかかわる農地管理情報の収集・啓発・仲介を行う。

地元産の農作物を地元で消費するよう啓発活動を行うとともに、学校給食への食材提供を行える体制を確立する。

地域産業の再生と活性化のために、できるだけ地元商工業者を利用するよう啓発する。

「房総のむら」、「岩屋古墳」といった特色ある歴史文化資源を活用し、新しい観光地づくりを推進するとともに、町の魅力を広く発信する。

町への観光客の利便のため、特に成田(駅・空港)からの交通手段の充実を図る。

【産業課】

町民に期待する役割

- 町経済の活性化を図るため、身近な商店・直売所などから地元産の安心・安全な農作物や日用品を購入していただくことを期待します。
- 観光客に町の良いイメージを持ってもらえるよう、町全体で「おもてなし」の気持ちを持つことや、各種観光関連団体の強化が望まれます。また、観光ボランティア等への積極的な参加を期待します。 【産業課】